

明けましておめでとうござります。

旧年中は、行政各般にわたりご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰さまで各種の事務事業も停滞するところなく、計画的・効率的に推進することができました。心から厚く感謝申し上げます。

昨年は、本町では幸いにも大きな自然災害もなく、安全で穏やかな一年を送ることができましたが、全国規模ではゲリラ豪雨、地震、火山噴火などによる甚大な被害が発生いたしました。特に、広島市で発生した土砂災害による被災者の皆さまには、一日も早い復旧・復興を願いまとともに、防災・減災の重要性を改めて認識した次第であります。

さて、国は地方の人口減少を内政の主要課題と位置付け「住みやすい地方」の再生に向けて、地域活性化や中長期ビジョンを策定する「まち、ひと、しごと創生本部」を設置いたしました。明るい展望を見出すべく体制づくりをしている矢先に、アベノミクス解散と称して年末に衆議院議員総選挙が行われました。円安や長引くデフレの影響などで、当圏域の景気や雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。が、再び自民党を中心とした政権が信任を受けましたので、アベノミクス効果の波及はもと

より、これからの中の政治・経済が地方にとつても夢と希望の持てる新たな転換期になってくれることを期待しているところであります。

鬼北町といたしましても、少子化と超高齢化社会の到来に備えるため、医療・福祉・介護・教育・環境・エネルギー・食糧問題など新たな社会システムの再構築が求められています。やらなければならぬこと、やりたいことは山積していますが、時代の潮流と取捨選択をよく見極めて、本町の抱える諸課題を一つ一つ確実に解決していきたいと考えております。

そこで平成27年は「産業の振興」「子育て支援」「防災・減災対策」の3つのプロジェクトを掲げ、子どもたちに夢を、お年寄りに安らぎを、そして若者に希望を与えることのできる具体的な政策を打ち出していきます。本年も愛着と誇りを持っていただける「ふるさと鬼北町づくり」のため、全職員一丸となつて各種施策の推進と充実に努めてまいりますので、引き続き、町民各位のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成27年が町民の皆さんにとって、明るく幸せな年となりますよう、心からご祈念申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。

鬼北町長
甲岡 秀文



あいさつ
町」その展望を語る